

令和3年度 仙台教育事務所管内 ジュニア・リーダー中級相当研修会

日時：令和3年8月17日（火曜日）午前9時～午後4時20分

令和3年8月21日（土曜日）午前9時～午後12時30分

会場：宮城県松島自然の家 宮城県仙台合同庁舎

主催：宮城県教育委員会

共催：一般社団法人宮城県子ども会育成連合会 仙台教育事務所管内子ども会育成連絡協議会

後援：宮城県高等学校長協会 宮城県中学校長会

主管：宮城県仙台教育事務所

令和3年度ジュニア・リーダー（以下J・L）中級研修会は、8月に1泊2日の日程で、松島自然の家で開催する予定でした。しかし、7月下旬からの新型コロナウイルス感染拡大を受け、日程を日帰り2日間として実施しました。

「レクリエーション活動」「自然体験活動」「安全教育」については1日目の松島自然の家で行いました。「広報活動」及び「情報交換活動」は仙台合同庁舎で実施し、「子どもの理解」「J・Lの役割」については事前にオンラインで講義を受け、当日感想文を持参することで単位の認定を行っております。

研修への申込は、23名の申込がありました。当日は1名欠席となってしまいました。スタッフとして、管内の派遣社会教育主事や市町村の職員が参加しています。

開講式には、松島自然の家所長及び仙台教育事務所長が参加し、励ましの言葉をいただきました。受講生22名は真剣にそしてJ・Lらしく明るく元気に、そして前向きに研修に取り組んでいました。

■レクリエーション活動 «MAP体験活動»

講師：七ヶ浜町教育委員会 生涯学習課

主幹（派遣社会教育主事）土井 謙治 氏

多賀城市教育委員会 生涯学習課

主幹（派遣社会教育主事）佐藤 雅俊 氏

仲間作りのアクティビティを中心に行いました。アイスブレイクの活動から参加者は笑顔いっぱい楽しみながらも真剣に活動していました。

また参加者は課題に対して、意欲的に考えを述べ、課題解決に向け、建設的に意見交換を行っている様子が見られました。時間の最後には初めて会ったとは思えないほど、フレンドリーな関係を築くことができました。



■安全教育 自然体験活動«防災ウォークラリー»

講師：宮城県松島自然の家

主事（社会教育主事）石垣 聡士 氏

開始時は小雨程度でしたが途中から本降りとなったことから、前半部分を「防災ウォークラリー」、後半部分で「ロープワーク」を行っています。「防災ウォークラリー」では、グループ毎に協力



してポイントを回りながら課題を解決する様子が見られました。参加者はお互いの意見を尊重し合うとともに、自分の意見も伝え合うことができるなど、素晴らしい活動の様子が見られました。

同様に「ロープワーク」でも、できた人が、まだ悩んでいる仲間に教え合う様子が見られました。

■広報活動 «魅力あるポスター作り»

講師：仙台教育事務所 教育学事班

次長（社会教育主事）森 智弘 氏

広報活動ではJ・Lが企画する行事を考え、その行事に人を集めるための魅力あるポスター作りについて研修を深めました。

初めに行事のコンセプトを決め、情報収集を行い、キャッチコピーを考えました。若い感性でユニークなキャッチコピーが生まれました。次にポスター作り。時間の短い中でしたが工夫を凝らしたポスターがたくさん作られ、グループ毎の発表会も大いに盛り上がりました。



■情報交換活動

担当：名取市教育委員会 生涯学習課

社会教育主事（派遣社会教育主事）群司 公平 氏

岩沼市教育委員会 生涯学習課

主幹（派遣社会教育主事）佐賀 雄幸 氏

J・Lの活動を通しての成果と課題について、付箋紙に書き出し、それをグループ分けして話合う活動を行いました。

異なる市町でも悩みは同じだと言うことに気づき、解決に向けての方策について熱心に意見の交換を行うことができました。感想の中には「自分にはない視点を聞くことができたので、自分の町で生かしていきたい」、「たくさんのヒントをもらうことができた」等、これからの活動に役立つ内容となりました。



■子どもの理解

■J・Lの役割

オンラインでの研修となり、事前に各自で受講し、中級研修会当日に感想文を持参しています。

